

ページ		誤	正
5	3 適用手順 マスターサーバ・スレーブサーバへのQND Ver.8.7 SP2適用手順	リード文の後	<p>1番目の注意事項として下記の追加をお願いいたします。</p> <p>注意 手動で上書きが必要なファイル</p> <p>→</p> <p>QNDサーバをバージョンアップするには、バージョンアップを行う前に次のファイルを別の場にコピーしておき、バージョンアップ後に元の場所に戻してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・%QND%bin%Rulea7.csv ・%QND%etc%multicast.ini ・%QND%QNDPlus%QIV%QIVSRV.CONF
5	3 適用手順 マスターサーバ・スレーブサーバへのQND Ver.8.7 SP2適用手順	リード文の後	<p>2番目の注意事項として下記の追加をお願いいたします。</p> <p>注意 インストール先ディレクトリの統一</p> <p>→</p> <p>バージョンアップ時に、インストール先は旧バージョンのインストール先と統一してください。</p> <p>QND Ver.8.2以降のバージョンアップ時には、アンインストールを促すダイアログが表示される手順がありますが、アンインストールを実行しても旧バージョンQNDのデータは失われません。手順に従ってバージョンアップを終了すると、旧バージョンQNDデータを引き続きご使用になれます。</p>
6	クライアントへのQND Ver.8.7 SP2適用手順 注意 クライアントインストーラを利用したインストール	QND サーバとクライアント間の回線が細い場合等にクライアントインストーラを利用してインストールを行います。 弊社WEB サイトよりクライアントインストーラ (Client_SP2.exe) をダウンロードされた場合は、解凍して、解凍指定先の「Client.exe」を起動します。 メール対応QP オプションをインストールする場合は、『QND Plus Ver.8.7 - 追補マニュアル-』「第4章 クライアントインストーラ機能の強化」を参照してください。 その他のオプションをインストールする場合は、『QND Ver.8.6 導入編』92 ページ「6 クライアントインストーラを利用したインベントリ収集」を参照してください。	<p>QND サーバとクライアント間の回線が細い場合等にクライアントインストーラを利用してインストールを行います。</p> <p>弊社WEB サイトよりクライアントインストーラ (Client_SP2.exe) をダウンロードされた場合は、解凍すると、「QND ClientInstaller 8.7」フォルダが作成されます。</p> <p>→</p> <p>クライアントインストーラの利用方法は、『QND Ver.8.6 導入編』92ページ「6 クライアントインストーラを利用したインベントリ収集」を参照してください。</p> <p>また、QND Plus Ver.8.7より「メール対応QP オプション」をクライアントインストーラを利用しインストールできるようになりましたので、こちらは『QND Plus Ver.8.7 - 追補マニュアル-』21ページ「第4章 クライアントインストーラ機能の強化」を参照してください。</p> <p>※上記マニュアルではクライアントインストーラのフォルダ名は「CLIENTINSTALLER」となっており、フォルダ名は異なりますが、内部のファイル構成は同じです。 上記マニュアルを参照する際は、「[CLIENTINSTALLER]」部分を全て「[QND ClientInstaller 8.7]」に読み換えてください。</p>